

まつもと じゅん 松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治版

平成18年2月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



2月号
2006年
No.36

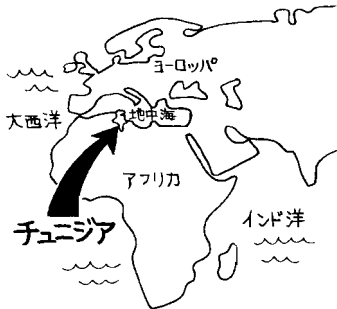
松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

イスラム世界との対話は可能でしょうか?

新年のチュニジア訪問で考えたこと

今年の私の最初の公務はギリシャ、チュニジアへの親善訪問と欧州各国の政治経済事情の視察でした。河野洋平衆議院議長に随行して、1月8日から16日までの旅です。

メインはチュニジアの首都チュニスで開かれた「第4回イスラム世界との文明間対話セミナー」への出席です。このセミナーは、河野議長が外務大臣の時代に提唱して実現したもので、日本側からは板垣雄三東大名誉教授など8人、イスラム側は7カ国から専門家が出席しました。



イスラム世界について、皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。フセイン体制崩壊後も続くイラクの混乱、アメリカでの9.11同時多発テロ以来、世界中で頻発している自爆テロ…などでしょうか。21世紀は「文明の対立の時代」ともいわれますが、このセミナーは対立から対話へ移行させようとする試みのひとつです。

対話は学術的な討論のほか、議会レベルでも行われました。河野議長とチュニジアのムバッザ代議院議長、カッラール評議院議長との会談です。代議院は日本の衆議院、評議院は参議院にあたります。会談で河野議長は、両国間の協力関係、特に貿易・投資面での関係を進展させることの重要性を強調。ムバッザ議長は、「今回の訪問は経済や文化などの面で両国協力関係の新たな出発となる」と語りました。

アフリカ大陸の最北端に位置するチュニジアは、親欧米的で穏健・現実的な外交政策を展開しています。人口約994万人。基幹産業は農業ですが、近年、電気・電子機械産業、情報通信産業が急速に成長していると聞きました。

一部のテロリストを見て、イスラム＝テロと考えるのは誤りです。とって、対話だけで現在の世界の危機が改善されるほど楽観的な状況ではないことも事実です。その中で日本としては、良好な関係を維持しているチュニジアのような国を通じて、相互理解に向けて一步一步進むしかない。初めてのチュニジアで、私はそんなことを考えました。

بحث العلاقات الثنائية وسبل تطويرها



يوهاي كونو
«علاقاتنا مع تونس جيدة ونود»

現地で報道された新聞記事



松本議員の国会レポート②⑤

平成17年

【12月14日(水)】

- 午前7時 ●第146回早朝街頭演説会
(京急屏風浦駅)
- 正午 ●第7回地方税勉強会
- 午後1時 ●税制調査会小委員会
- 午後4時 ●大勇会
- 午後6時30分 ●前山手消防団長、
原田稔氏叙勲祝賀会

【12月30日(金)】

- 午前7時30分 ●国会会最終ゴルフコンペ
- 午後7時 ●日経新聞取材

平成18年

【1月17日(火)】

- 午前10時 ●総務省官房長・総務課長と面談
- 午後1時45分 ●衆議院国土交通委員会
- 午後3時40分 ●議院運営委員会の与党理事懇談会
- 午後4時 ●議院運営委員会理事会
- 午後6時 ●神奈川県宅地建物取引業協会
横浜中央支部の賀詞交歓会
- 午後8時 ●中区薬剤師会理事会

原田稔さんは山手消防団での52年間にわたる活動が認められ、秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。原田さんは「辛いこと、楽しいことが目に浮かんできますが、幸いにして健康に恵まれた賜物と思っています」とあいさつ。謙虚な人柄を偲ばせる飾らない言葉に大きな拍手が送られました。

日経新聞の記者さんが「趣味の話を」と取材に来られましたので、学生時代から演奏しているジャズベースについて、「派手さはないけど、これがなければジャズは成り立たない。縁の下の力持ちですね」と話しました。記事は1月12日夕刊に、ベースをひく私の写真とともに掲載されました。

マンション・ホテルの耐震強度偽装問題で、ユーザーの小嶋進社長の証人喚問。私も議院運営委員会の理事として傍聴しました。結果は「刑事訴追の恐れがあるので証言を控えさせていただきます」という証言拒否の連発でした。今後の委員会審議などで真相の究明を、と改めて強く思いました。

自民党神奈川1区支部大会・各後援会総会 新春合同総会および懇親会

下記のとおり開催します。麻生太郎外務大臣をお招きしての講演も予定しております。お忙しいことと存じますが、ご出席いただきますようお願いいたします。

- 日 時 2月25日(土) 午後6時開会
- 場 所 横浜プリンスホテル(磯子区磯子)
- 会 費 3,000円
- 問合せ 松本純事務所 電話045-762-1150



▲1/5 新年の早朝演説会をJR
洋光台駅前にて開催しました



▲1/17 通常国会の準備のため開催
された議運与党理事懇談会にて

永田町日記 ライブドア事件で、改めて「汗する人が報われる社会」を

ライブドアグループによる証券取引法違反容疑で、堀江貴文社長が逮捕されました。“時代のヒーロー”ともてはやした人たちの、手のひらを返したかのような言動が広がっています。私は「まちかど政治版」の昨年5月号で、堀江社長が発したメッセージが時代の要請であることを認めたくて、その“資本の論理”だけでいいのだろうか、と疑問を呈しました。それは、私の政治家としての出発点が「汗する人が報われるニッポンへ！」にあったからです。私たちはかつてバブルに浮かべられたように、今の投資ブームに社会のあるべき姿を忘れていないのでしょうか。

“ホリエモン叩き”が強まる中で、私は「汗する人が…」という私の原点をもう一度確認しようと思っています。(純)

まつもとじゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国の形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営や新人教育に取り組む。